

# 慶應義塾における 研究大学強化促進事業について

Keio University



慶應義塾塾監局研究支援センター 川田孝征

## 事業の目的

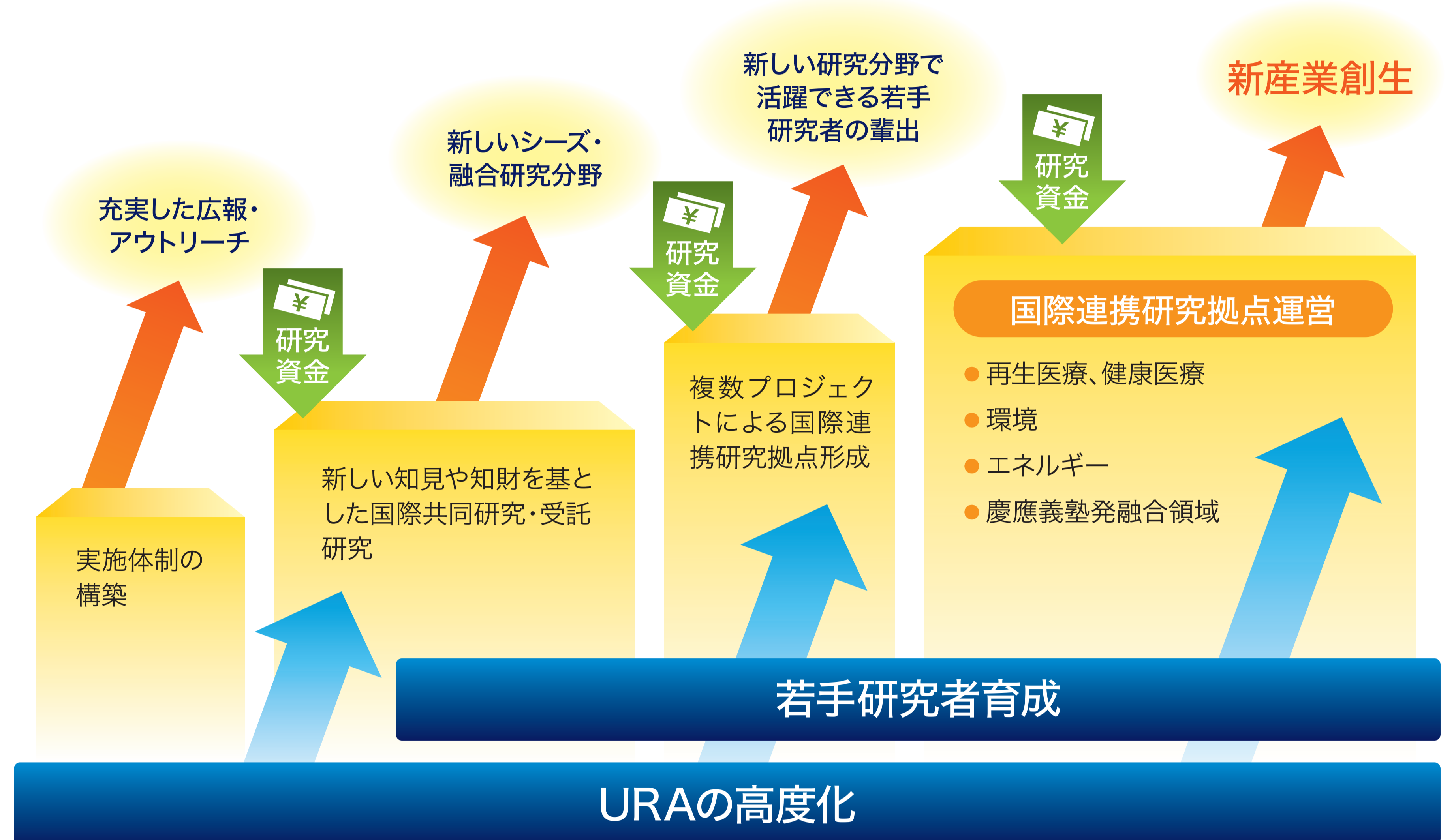
慶應義塾は、1999年に設置した「研究支援センター」を中心に研究支援体制を構築し、2003年に設置した「総合研究推進機構」や、それを2011年に組織改編して設置した「研究連携推進本部」が中心となって、慶應義塾が総合大学としてもてる研究力を十分に発揮するために、個人研究レベルから国際研究レベルまで共通して、「教員研究者が研究費を獲得してから終了し、技術移転するまでの期間」の支援体制を構築してきた。

本事業においては、これまで十分支援することが出来なかった「次の研究プロジェクトへつなぎ、発展させていく」過程の支援体制整備を重点課題として、現在行っている研究プロジェクトの支援体制の強化に加え、次の研究プロジェクトや産学共同開発プロジェクトなどへ展開し発展させ、「真のサイエンスの確立」や「新しいテクノロジーの創出」をもたらすことのできる、世界トップレベルの研究大学としての体制の構築を目指す。

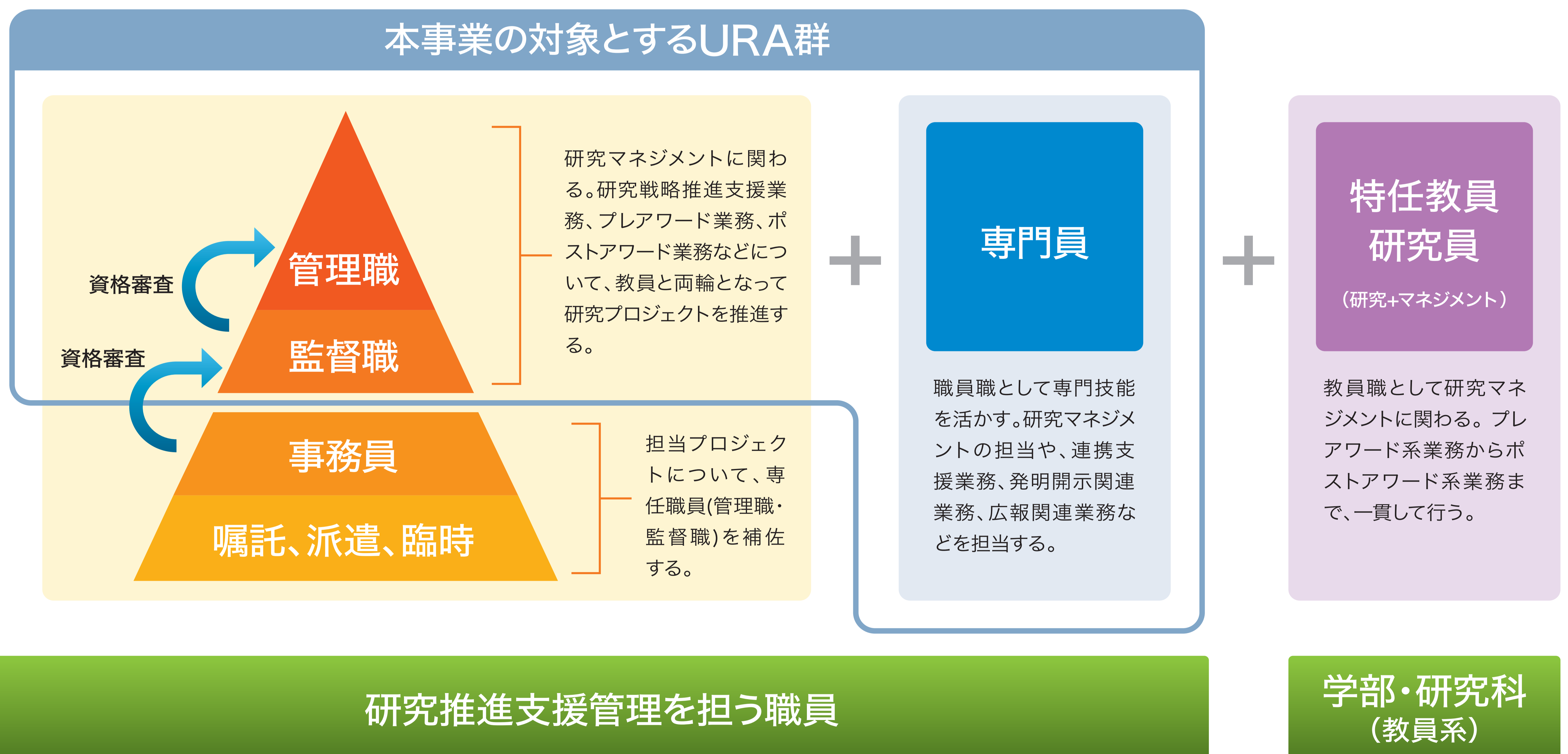
## 慶應義塾の研究活動を飛躍的に発展させるための5本の柱

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023

- 1 教員の研究時間の確保
- 2 今日を生きる研究と明日を生きる研究を共に支援
- 3 大学内の融合研究の支援
- 4 国際共同研究の支援
- 5 次代の高度研究者の育成・人事制度改革や組織改編の実行



## 慶應義塾型URA群の体制整備



## 研究力強化の方針に基づく研究者支援(具体例)

- 新開発資金管理システムの構築  
事務処理の無駄を省き研究時間を確保
- 若手・新任教員の研究力・キャリアUP  
定期的なセミナー開催および継続的なサポート体制の構築
- 学際領域促進のための研究フェアの定期開催  
伝統的学術基盤の効果的な連携の促進
- URAの海外業務への新展開  
国際共同研究さらにその連携組織の拠点形成の推進
- 育児研究者(男女問わず)の支援制度の拡大  
子育てをする若手研究者の包括的な支援制度の整備

…等々

